

## スーパーティーチャーによる1人1台端末を活用した授業公開研修



嬉野市立大草野小学校 大石 由紀 教諭

単元名：What do you want?

ほしいものは 何かな？（小学校第4学年 外国語活動）

### ICT活用のポイント

- ・ チャンツの動画を使うことで、英語らしい発音に口慣らしできるようにリズムやアクセントに気を付けながら歌うことができる。
- ・ デジタル教材（自作）を使うことで、カードの準備がらず効率的に学習できる。
- ・ アンケートフォームで振り返りをするすることで、瞬時にアンケート集約をしたり全体把握をしたりすることができる。

### 学習の流れ 全5時間（本時2 / 5）

本時の目標 好きなパフェを注文したり、注文を受けたりするために必要な食材の言い方や“What do you want ~? ”, “I want ~.” の表現に慣れ親しんでいる。【知識・技能】

#### 導入

①挨拶をして、Hello songを歌う。

活用ポイント

【表示機能】

②チャンツを歌う。

③【Let's chant】から前時に使った表現を想起する。

④めあてを確かめる。

<Today's goal>

パフェショップ41でオリジナルフルーツパフェを注文しよう！

#### 展開

⑤前時の活動を振り返り、本時の活動の見通しをもつ。

⑥果物などの食べ物の言い方に慣れる。

⑦パフェショップ41でお互いの好きなパフェを注文し合う。

活用ポイント

【自作教材(Scratch)】

#### まとめ

<評価>

好きなパフェを注文するために必要な食材の言い方や“What do you want ~?”

A “I want ~,please.”

B “~,please.”

の表現に慣れ親しんでいる。

※タブレットの中にある注文したい食材を指さしたり、注文したい数をジェスチャーで示したりするように声をかける。英語表現を児童のそばで言ったり、一緒に言ったりして慣れ親しむことができるようにする。

⑧振り返りをする。

活用ポイント

【Googleフォーム】



←「SAGA Eコネクト」ではたくさんの事例を紹介しています。

<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>



①

①挨拶をして、Hello songを歌う  
【電子黒板：表示機能】

動きを電子黒板に表示することで、みんなで標準的な発音を聞いてまねすることができます！



③

③【Let's chant】から前時に使った表現を想起する。  
【電子黒板：表示機能】

尋ねる側と答える側に分かれることで相手意識をもつことができます！

<Today's goal>

パフェショップ4 1でオリジナルフルーツパフェを注文しよう！

⑦パフェショップ4 1でお互いの好きなパフェを注文し合う。【自作教材 (Scratch)】

端末を使うことで、簡単！効率的！

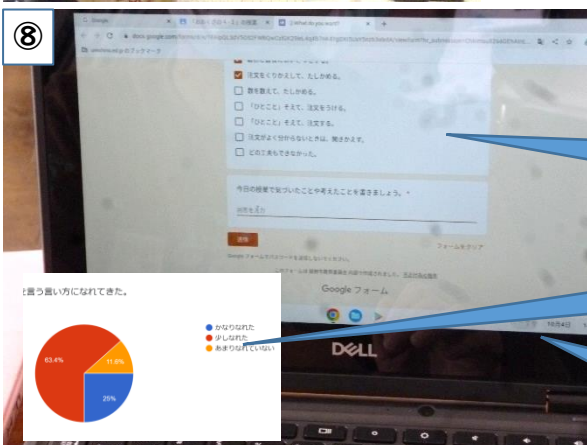
(以前はカードを何枚も切って時間がかかったり、風で飛んだり、とても大変でした。)

作ったパフェは簡単に画像として保存できるのでとっても便利です。

電子黒板で操作することで、友達のやり取りの様子をクラスで共有することができます。



⑦



⑧

⑧振り返りをする  
【アンケート機能 (Googleフォーム)】

振り返りは一覧でみることができるので、評価に生かすことができます。

集計結果を瞬時に見せることができ次時への動機付けに活用できます。

「回答別のフィードバック」をつけてコメントをつけて返却できます。

令和4年10月4日に行われた、スーパーティーチャー大石由紀教諭（嬉野市立大草野小学校）の実践です。好きなパフェを注文するために必要な食材の言い方や“What do you want ~?” “I want ~.”の表現に慣れ親しむコミュニケーション活動を助けるツールとして1人1台端末を効果的に活用していました。今までカードで行っていた操作活動をデジタルで行うことで準備の時間がいらぬことや整理しやすいこと、友達が注文したパフェの画像を保存できることなど、デジタルならではの良さが随所に見られた授業でした。振り返りのアンケート機能で「回答別のフィードバック」をつけてコメントをつけて返却することで児童の意欲を高めるなど、子供たちとのコミュニケーションのツールとしても効果的に端末を活用された素晴らしい授業でした。